

松江北道路個別説明会等 意見・質問とその回答状況（とりまとめ）

個別説明会：令和2年8月18日～30日

市民説明会：令和2年8月26日、令和2年9月6日

意見・質問		回答
<b>■ これまでの経緯について</b>		
1	前回の説明会（平成30年7月～10月）から2年経過しているが、経緯を知りたい。	前回の説明会でいただいたご意見・ご要望について、地域の皆様と話し合いを重ねました。 この度、この調整を踏まえたルート（道路計画）案を作成しましたので、説明会を開催することとしました。
2	沿線地域との調整状況を知りたい。	沿線地域の皆様からは様々なご意見やご要望をいただき、話し合いを重ねました。 この度、調整を踏まえたルート（道路計画）案を作成しましたので、説明会を開催することとしました。
<b>■ ルート案について</b>		
1	どのようにして今回説明するルート案となったのか。	地域の皆様と話し合いを重ねた結果を踏まえ、今回ご報告するルート（道路計画）案を作成しました。このルート（道路計画）案で進めたいと考えています。
2	簡単にルートを変更すべきではない。	
3	ルートを変更して欲しい。 （道路が近接することが困る。） （ルートをもっと違う箇所にするか、現在ある道路を拡幅すれば良い。）	
4	境港出雲道路はどのようなのか。松江北道路の位置付けは。	松江北道路は、地域高規格道路境港出雲道路の一部として計画しています。 境港出雲道路としては、まずは松江北道路の早期事業化に努め、残る区間については、周辺道路の整備状況や交通流動等を踏まえて検討していきます。
5	土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）の位置なども把握して進めて欲しい。	ルート選定時に土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）などの位置も確認しながらルート選定を行っています。
<b>■ 道路構造について</b>		
1	幅員は何mか。	車道幅員は、8m（車線3.25m×2、路肩0.75m×2）です。
2	トンネルの延長はどのくらいか。	約1kmのトンネルを2本計画しています。
3	既存の市道との交差の高低差はどのくらいか。	現地の地形等によって変わりますが、7m程度になる見込みです。
4	自動車専用道路か。	自動車専用道路ではなく、一般道路として計画しています。 ただし、歩行者や自転車等については通行を規制する方向で調整を行っています。
<b>【盛土構造、高架構造に関すること】</b>		
5	盛土構造では、豪雨の際に水害を助長するおそれがあることから、高架構造にすべきである。	道路構造の基本方針に基づいたルート（道路計画）案としていますが、事業着手後の測量調査結果を踏まえ、詳細設計時に地域の皆様の理解を得ながら検討していきたいと考えています。
6	盛土構造と高架構造はこれで決定なのか。	
<b>【乗り降り箇所に関すること】</b>		
7	立体交差の位置を知りたい。	「西生馬」及び「西持田」、「川津」を立体交差での乗り降り箇所として計画しています。
8	立体交差と平面交差はどのような考え方で分けたのか。	すべての乗り降り箇所を立体交差にすることは経済性も踏まえ、難しいと考えています。 その中で、立体交差でないと交通処理ができないと見込まれる「川津」を立体交差としています。また、「西生馬」と「西持田」は、延長が長くトンネルもある区間の両端に設置することから、自転車などの誤進入防止を図るため、立体交差で計画しています。
9	平面交差は立体交差にすべきである。	
10	交差する道路の交通量が多い乗り降り箇所において、平面交差では信号機が設置され渋滞が生じ、日常生活に影響を及ぼすのではないか。 災害時避難するような事態になれば信号機が作動せず、平面交差ではパニックになるのではないか。	なお、立体交差であっても、松江北道路は連絡路（ランプ）により交差道路と接続するため、交差点ができることとなります。このことから、交差する道路の交通に対しては、平面交差と比較して立体交差の方が必ずしも有利になるということではありません。 また、信号の設置については、公安委員会が判断します。
<b>【機能回復道路に関すること】</b>		
11	側道はできないのか。	側道を全線にわたって設置する計画はありませんが、既存の道路の機能を損なわないよう、機能回復道路について事業着手後の詳細設計の段階において、検討していきたいと考えています。
12	道路ができることにより、これまで通行できていた道が通れなくなると困る。	
13	起点側のサイクリングロードの歩道を復旧すること。	
14	排水・利水機能は復旧すること。	機能回復道路に加え、排水・利水機能の回復についても、事業着手後の詳細設計の段階で地域の皆様と話し合いながら検討していきたいと考えています。
<b>【管理等に関すること】</b>		
15	道路の管理はしっかりして欲しい。管理用道路も必要だ。	島根県の管理基準等により管理・対策します。
16	防草対策はしっかりすること。	管理用道路については、事業着手後の詳細設計の段階で検討します。

17	鳥獣対策はどうか。	必要に応じて、事業着手後の詳細設計の段階で検討します。
18	道路整備により地すべりを助長させないようにすること。	設計に際しては、必要に応じて土質調査などを行い、安全面に留意して事業を進めていきたいと考えています。
<b>■ 環境への影響について</b>		
1	松江北道路ができることにより、騒音や振動がどのようになるか知りたい。	騒音や振動、日照など含めた環境影響評価については、学識経験者などから組織する松江北道路環境影響評価検討会にて検討しました。 その結果、環境保全措置を実施することにより影響は低減・最小化できることを確認しています。（詳細は、ホームページに環境影響評価とりまとめ書として掲載しています。）
2	日照が心配。	
3	対策はどのようなことを行うのか。	
4	環境影響評価の結果は怎么样了か。	
5	予測値が基準値以下であっても、実際に車が通ったら基準値を超える場合もあるのではないか。	道路完成後、実際に基準値以上の騒音が発生した場合は調査の上、対策を検討していきます。
6	工事中の工事用車両がどの程度になるか心配だ。	騒音などに配慮した施工計画により工事を行います。工事前等には必要に応じて説明会を実施します。
7	工事中の騒音や粉塵対策を行うこと。	
<b>■ 所有地等への影響について</b>		
1	所有地に影響がありそうだが、事業に協力する。	現地測量や詳細設計を行っていない段階の計画であるので、詳細な影響範囲が確定する事業着手後の段階において、改めて説明します。  現段階では決まっています。事業着手後、土地等の評価等を行い決定します。  影響範囲がわかり次第、早期に調整するよう努めます。  事業着手後の詳細設計の段階で検討していきたいと考えています。
2	所有地に影響がありそうだが、影響しないようにして欲しい。	
3	所有地に影響がありそうだが、中途半端に残地を残して欲しくない。	
4	用地の買収単価は決まっているか。	
5	共同墓地に影響しそうなので、早期に調整すること。	
6	目隠しフェンスを設置して欲しい。	
7	所有する田の水が少ないが、道路ができることにより更に減ることがないようにして欲しい。	
8	給水施設に影響がないようにして欲しい。	
<b>■ 交通安全について</b>		
1	乗り降り箇所周辺の交通量が増え、交通安全が確保されるかが心配。特に通学路が心配である。	事業着手後の詳細設計の段階において、交通安全対策について十分検討していきたいと考えています。
2	交差点について、誤進入がないようにしっかり対策して欲しい。	誤進入対策については、交通安全施設などで注意喚起等を実施していきたいと考えています。交通安全対策は、事業着手後の詳細設計の段階において検討していきたいと考えています。
3	交差点に信号はつくのか。	信号の設置については、公安委員会の判断となることから、今後継続して公安委員会と協議を進めます。
4	工事中の安全対策を徹底して欲しい。	工事中の安全対策を徹底します。
5	周辺道路の拡幅を要望したい。工事用道路とした道路も。	事業着手後の詳細設計時に地域の皆様と話し合いをしながら、道路管理者とも調整し、検討していきたいと考えています。
<b>■ スケジュールについて</b>		
1	今後のスケジュールが知りたい。事業着手はいつからか。	2020年代初頭の事業着手を目標としています。 完成までは事業着手から概ね10年程度は要すると考えています。 事業着手後に現地の測量や設計を行い、その後工事着手となりますが、時期や順番については、現段階では決まっておりません。
2	完成はいつか。	
3	工事着手時期はいつか。	
4	部分開通などはあるのか。	
5	どこから着手するのか。	
<b>■ 事業の必要性について</b>		
1	ルート案が定まったのであれば、早期に事業を進めて欲しい。	早期整備を目指します。
2	松江北道路ができると便利になると思う。	
3	事業に賛成である。道路は大事なもので進めて欲しい。	
4	事業は公共の大事なものであるから進めてほしい。	
5	道路計画により、地域の活性化もできるのではと思う。	
6	災害時の避難路にもなるため、一日でも早く整備するべき。	
7	社会福祉、子育てに税金を使うべき。道路ができることで過疎化に歯止めがかかるか疑問である。	松江北道路につきましては、松江市内の渋滞緩和、災害時の迂回路機能の確保、山陰道へのアクセス向上を図る道路として大きな役割があると考えています。
8	事業効果があるのか。	
9	松江北道路ができることにより、市内の交通量がどのようになるのか知りたい。	松江北道路ができることにより、松江だんだん道路とともに外環状道路が構築され、市内を通過する交通が減少する見込みです。このことから現在松江市内で渋滞している箇所の渋滞緩和が図られると考えています。
10	渋滞緩和と言っているが、渋滞するのは朝と夕方だけ。時間差で出勤・退社をすとか他に方法がないのか。	渋滞緩和の他、災害時の迂回路機能の確保、山陰道へのアクセス向上を図る道路として大きな役割があると考えています。
11	だんだん道路は現在でも交通量が多い。松江北道路ができると更に混むのではないのか。	まずは、松江市内の道路ネットワークの課題解決のために松江北道路の早期事業化に努めたいと考えています。 だんだん道路の4車線化を含む境港出雲道路計画については、周辺道路の整備状況や交通流動等を踏まえて検討していきます。
12	災害にしても今まで考えたこともない激甚災害が当たり前になってくる。その中で、昔の松江の洪水等を考えても意味付けが時代遅れ。もっと先のことを考えるべき。	松江北道路建設により災害リスクが著しく高くないよう、事業着手後の詳細設計時に検討していきたいと考えています。

13	この道路計画で移転になる方に対しては、自分が同じ立場ならどうするかも考えて物事を進めないといけない。	道路計画に伴い所有する建物や土地等が影響する方に対して、真摯に対応していきます。
14	予算はいくら見込んでいて、財源は何か。	予算は260億円程度を見込んでいます。財源については、国の補助金や有利な起債を活用して県の実質負担を抑えたいと考えています。
<b>■ 都市計画について</b>		
1	松江北道路計画の近傍地は市街化区域となるのか。	松江北道路計画を都市計画上、道路施設として位置付けます。 これに伴い、松江北道路計画の沿線が新たに市街化区域とはなりません。
<b>■ 説明会や情報発信について</b>		
1	意見や説明会の結果はホームページなどに公表すること。	説明会にて寄せられた意見や結果がわかるようにホームページや瓦版（松江北道路だより）により情報発信します。 今後も情報提供を継続的に実施します。
2	今後も情報提供を継続して欲しい。	
3	既成事実を作るための広報や説明会ではなく、出かけて行って地元の方などの意見を聞くべきである。	今回のルート（道路計画）案の作成にあたっては、地域の皆様からいただいたご意見やご要望について、話し合いを重ねて作成しました。 今後も地域の皆様と話し合いを重ねていきたいと考えています。
4	市民説明会は全部で何人くらい来たのか。 松江市民は20万人くらいになったが、少なくとも半分以上の方がこの説明を聞かないと意味がないのではないか。	市民説明会には84名の方に参加いただきました。 市民説明会の開催にあたっては、新聞や市報への折込、ケーブルテレビや音声告知による放送、県ホームページやフェイスブックへの掲載などの方法により開催を周知しています。 また、説明会に参加できなかった方に対しても、説明会の様子がわかるようにホームページや瓦版（松江北道路だより）などを用い、情報発信していきたいと考えています。